

二日間のイベント詳細は中面へ

鳥取県立博物館バリアフリー情報

エントランス

スロープ

車いす利用の方、階段を利用されない方のために、玄関ホールまでスロープを設けています。

視覚障がい者誘導点字ブロック

玄関ホールまで点字ブロック及び手すりを設置しています。

館内

多目的トイレ

1階ホールのカフェ横に自動ドア付き多目的トイレを設けています。

貸出用車いす

貸出用に車いす11台を用意しています。

段差解消リフト（2台）

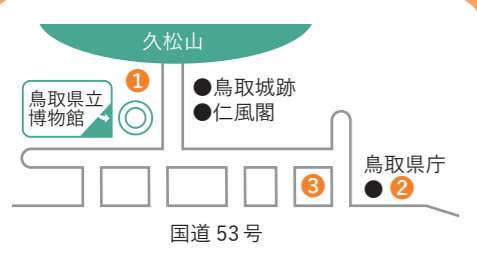
車いすでおいでの方、2階ホールから講堂や特別展示室に入出される場合にご利用ください。

エレベーター

1階ホールから2階ホールへおいでの方にご利用いただけます。

館内はバリアフリーとなっていない所があります。介助が必要な方は、職員・イベントスタッフが対応しますので、気軽にお声掛けいただくか、電話で御連絡ください。（電話：0857-26-8042）

駐車場案内



①鳥取県立博物館構内駐車場が満車の場合は②鳥取県庁構内（駐車可）または③鳥取県庁北側駐車場をご利用ください。

*身障者用駐車場：本企画用に地下駐車場（入り口向かって右側駐車場奥）に4台をご用意していますので、駐車場係員にお申し付けください。

視覚を超えたアート共同鑑賞ワークショップ



11.26 (土)

ギャラリーコンパ @ 鳥取県立博物館 2022

鑑賞ワークショップ

トークショー登壇者

ゲスト

白鳥建二 [全盲の美術鑑賞者・写真家]

生れ付き強度の弱視で、中学くらいにはほとんど見えなくなり、20代半ばで全盲になる。美術館デートをきっかけに、鑑賞に興味を持ち、単独で美術館へ行く活動を始める。会話しながら鑑賞するという方法で、友人と美術館に行ったり、鑑賞会に関わるようになって20年以上になる。水戸芸術館現代美術センターで開催されている、視覚に障害がある人との鑑賞ツアー「session!」のナビゲーターを10年にわたり務めている。



三好大輔 [映画監督/プロデューサー]

1972年岐阜生まれ。1995年日本大学芸術学部卒。音楽専門の制作会社入社。MVやライブ映像の制作に携わる。2000年 PROMAX&BDA AWARDS受賞。広告会社を経て2005年独立。癌を患った友人の奥山貴宏を追った記録がNHKのETV特集「オレを覚えてほしい」で評判となる。2008年より東京藝術大学デザイン科講師。市井の人々が記録した8mmフィルムによる「地域映画」づくりをはじめ、全国にその活動を広げる。東日本大震災後、安曇野に移住。2015年株式会社アルプスピクチャーズ設立。2020年 松本の古民家に拠点を移す。全盲の美術鑑賞者白鳥建二のドキュメンタリー「白い鳥」共同監督。映画を中心に映像制作を行う一方、全国の大学等で映像の指導を行う。

川内有緒 [ノンフィクション作家]

映画監督を目指して日本大学芸術学部へ進学したものの、いつしか中南米のカルチャーに魅せられ、米国ジョージタウン大学の中南米地域研究で修士号を取得。米国企業、日本のシンクタンク、仏のユネスコ本部などに勤務し、国際協力分野で12年間働く。2010年以降は東京を拠点に評伝、旅行記、エッセイなどの執筆を行う。『パウルを探して 地球の片隅に伝わる秘密の歌』（幻冬舎）で新田次郎文学賞、『空をゆく巨人』（集英社）で第16回開高健ノンフィクション賞を受賞。趣味は美術鑑賞とDIY小屋づくり。また東京でギャラリー「山小屋」（東京）を運営している。最新刊は『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』（集英社インターナショナル）。ドキュメンタリー映画『白い鳥』共同監督。



石田陽介

[鳥取大学 准教授 / ギャラリーコンパ主催スタッフ] 精神科病院勤務を経た後、まちに芸術養生が息づく社会の仕組みづくりの実践研究に取り組む。現在鳥取で美術館セラピープロジェクトを推進中。日本芸術療法学会認定芸術療法士（アートセラピスト）。博士（感性学）。



司会

山下弥生 [FM鳥取]

コーディネーター

先行上映会・トークショー



11.27 (日)

映画

ウェルビーイングを共創するプレ美術館セラピープログラム

汽水域アートシェアリング 2022

目の見える・見えないという互いの世界に思いを馳せながら、障害を超え、アートを巡って対話する二日間。

主催 | 鳥取大学 地域価値創造研究教育機構
共催 | 鳥取県教育委員会美術館整備局
鳥取県立美術館パートナーズ

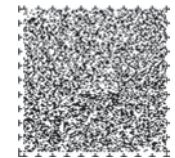
会場 | 鳥取県立博物館

フクシ×アートWEEKs 2022 連携企画
特別協力 | あいサポート・アートセンター

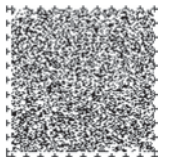
お問合せ

11月26日(土) ギャラリーコンパ @ 鳥取県立博物館 2022
鳥取大学 地域価値創造研究教育機構 地域創生教育推進室 (担当: 石田)
TEL: 0857-31-5957 / E-mail: is@tottori-u.ac.jp

11月27日(日) 映画『目の見えない白鳥さん、アートを見に行く』先行上映会・トークショー
フクシ×アートWEEK 実行委員会 (事務局: アートスペースからふる)
TEL: 0857-35-0191 / E-mail: art.colourful.105@ncn-t.net



マスクの着用・手指消毒・検温など感染対策にご協力をお願いします。
新型コロナウイルスの感染状況により、鳥取県・鳥取市のガイドライン等に準拠し、人数制限や中止・変更を行う可能性があります。



スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることにより、ちらしの情報を音声にてお聞きいただけます

スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることにより、ちらしの情報を音声にてお聞きいただけます

ウェルビーイングを共創するプレ美術館セラピープログラム

汽水域アートシェアリング 2022



イベントのWEBサイトはこちら
<https://www.fukushiartweek.com/event112627-2022>

目の見える・見えないという互いの個性を活かしあって行うアート共同鑑賞ワークショップ「ギャラリーコンパ」を開催。今回は、鳥取県立博物館開館50周年記念企画展「すべてみせます! 収蔵庫の資料たち」の展示美術作品を共に鑑賞します。視覚を超えたアート共同鑑賞を、ぜひ一緒に体感しませんか?

11.26 (土) 視覚を超えたアート共同鑑賞ワークショップ ギャラリーコンパ @ 鳥取県立博物館2022



目の見える・見えないという互いの個性を活かしあって行うアート共同鑑賞ワークショップ「ギャラリーコンパ」を開催。今回は、鳥取県立博物館開館50周年記念企画展「すべてみせます! 収蔵庫の資料たち」の展示美術作品を共に鑑賞します。視覚を超えたアート共同鑑賞を、ぜひ一緒に体感しませんか?

ファシリテーター | 石田陽介・濱田庄司・松尾さち
 運営 | 鳥取大学デザインプロジェクト

会場 | 鳥取県立博物館第3展示室・2階会議室 (※受付場所: 1階エントランス)

参加費 無料 | **時間** 12時 - 14時 ~受付時間: 11時30分 - 11時50分 | **定員** 12名 (視覚障がい者3名/晴眼者9名) ※事前予約制 (申込多数の場合には先着順) | **参加対象** 中学生以上の方 (当日、体調不良の方はご遠慮ください)

「ギャラリーコンパ」とは、美術館に視覚障がい者と晴眼者が共に赴き、対話を通して視覚芸術とも呼ばれるアート作品と一緒に味わう鑑賞ワークショップです。2005年九州で石田陽介・濱田庄司・松尾さちによって始動し、年3回程のペースで開催を続けています。これまで17年に渡って延べ百人以上の視覚障がいを持つ方々を美術館へと誘い、晴眼者との対話や触感による「視覚を超えたアート共同鑑賞活動」を促し、支援してきました。



お申込み先 is@tottori-u.ac.jp

①名前 ②年齢 ③障がいの有無 ④博物館での駐車場使用の有無 ⑤電話番号およびメールアドレス
 を記し、メールにて鳥取大学・石田陽介まで (電話 090-5931-7441)

申込〆切日: 11月17日 (木) ※応募者多数の場合は先着順とします。

鳥取大学デザインプロジェクト

鳥取大学地域価値創造研究教育機構の地域創生教育推進室では、地域社会で活躍できる知識・技術を身につけた人材を養成するため、「地域創生推進プログラム」を開講しており、本演習授業「デザインプロジェクト」(担当教員: 石田陽介)は、その一つに位置します。実現化したい鳥取のビジョンを思い描き、地域に暮らす様々な方々と協働したコミュニティアートの実践活動をもって、社会包摂の推進に挑む本企画は、鳥取大学の「デザインプロジェクト」受講生によって運営されています。

告知

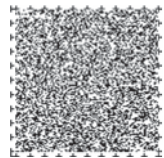
わたしたちの“まち”で、
 フクシとアートに出会う30日間
10月29日(土)-11月27日(日)
 会場: 鳥取市中心市街地商店街

告知

OPENNESS!
鳥取県立美術館
 令和7年春 開館

- ・植嶋 大輔展「はみだす」
- ・鳥取県はーとふるアートギャラリー合同展「はーとをふるわせて2」
- ・鳥取まちなかウォーキングミュージアム
- ・アートクル展

- ・「WEEKのこれまで/WEEKsのこれから」展
- ・フクシ×アートフォーラム セサミストリートと一緒に考える多様性とアート
- ・フクシ×マルシェ
- ・あすなる高等専修学校 3年生連携企画



スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることで、ちらしの情報を音声にてお聞きいただけます

人が新たな人間関係を築こうとする時、情報共有はともかく、感情の共有までもは難しいものです。「相手を理解するべき努力は最大限するべきだが限界もある。そうした限界を超えて、共感や驚きを抱けるのが芸術の力ではないか」とある研究者は述べましたが、アートの鑑賞や創造を共に行う体験は、驚きや喜びといった様々な感情の共感を促し、人の間に横たわる障壁を溶かしうる可能性を多くはらんでいます。そうしたアートのシェア体験がもたらす効果を活かし、例えるならば海と川、それぞれに生息する異なる領域の水中生物群が、海水と真水とが混交する河口付近にて互いに交わりながら豊かに共生しうる汽水域のような隔たりのない人間環境を、私たちが暮らすこの地域社会に築けないものでしょうか。アートシェア体験がもたらす共感力を活かした地域創生プロジェクト「汽水域アートシェアリング」を鳥取で今、始動します。

11.27 (日) 映画『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』 先行上映会・トークショー

見えない人と見るからこそ、見えてくる！
 話題の書籍の映画化・ご本人登場！



「全盲の自分でも、アートを見ることはできるのかもしれない」。話題の書籍の映画版であり、「全盲の美術鑑賞者」白鳥建二さんを追った新作ドキュメンタリー映画の字幕版・音声ガイド版を特別に先行上映します。そして、白鳥建二さん、監督の三好大輔さん、原案・共同監督の川内有緒さんを迎えたトークショーも同日に開催します。

運営 | フクシ×アートWEEK 実行委員会

会場 | 鳥取県立博物館2階講堂

先行上映会

『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』

2022年/日本/107分
 監督: 三好大輔 川内有緒
 出演: 白鳥建二 佐藤麻衣子 森山純子ほか

恋人とのデートがきっかけで初めて美術館を訪れた全盲の白鳥さんは、「全盲でもアートを見ることはできるのかも」と、あちこちの美術館を訪れるように。いつの間にか「自由な会話を使ったアート鑑賞」という独自の鑑賞法を編み出しました。水戸から東京、新潟、そして福島へ。アート作品をめぐるながら旅する白鳥さんと友人たち、美術館で働く人々、新たに白鳥さんと出会った人々が紡ぎ出す豊かで自由な会話。その旅路や見えない日常を追ったドキュメンタリー。

鑑賞料 必要 | **時間** 開場 10時 日本語字幕版 10時30分 - 12時17分 (舞台挨拶~12:30) ※各回上映終了後、舞台挨拶あり | **定員** 各回100名 ※先着順

料金	一般当日	1800円	障がい者割引	1000円 (当日・ネットいずれも) *会場で障がい者手帳等の提示をお願いします	※付き添い1名様まで同料金
	一般ネット割引	1500円 (Peatix)	学生割引	1000円 (当日・ネットいずれも) *会場で学生証等の提示をお願いします	*未就学児は無料



*音声ガイド版は、視覚障がい者用の音声ガイドが会場全体に流れます。主に視覚に障がいがある方、見えにくい方、また音声ガイドの世界を体験したい方向けです。
 *本作品は「UDCast MOVIE」に対応しています。アプリをダウンロードした機器が必要となります。ご利用の方は事前にご準備ください。

ネット申込 (Peatix) はこちらから



トークショー

『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』 と一緒に考えるフクシ×アート

登壇者	ゲスト	コーディネーター	登壇者のプロフィールは裏面へ
白鳥建二 [全盲の美術鑑賞者・写真家] 三好大輔 [映画監督/プロデューサー] 川内有緒 [ノンフィクション作家]	石田陽介 [鳥取大学 准教授 / ギャラリーコンパ主催スタッフ] 司会 山下弥生 [FM鳥取]		

参加費 無料 | **時間** 開場 15時30分 15時45分 - 16時45分 ※1時間予定、質疑応答あり | **定員** 100名 ※事前予約制 先着順 当日受付あり

トークショーでは手話通訳を行います。

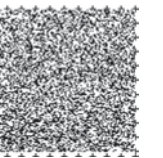
トークショー終了後、サイン会を実施いたします。

*参加にはトークショーへの参加が必要です。
 *当日は、書籍『目の見えない白鳥さんとアートを見にいく』をはじめ、関連グッズや書籍も販売いたします。



トークショーの様子は後日、YouTube「フクシ×アートWEEK実行委員会」チャンネルで配信します。

YouTube
 公開収録無料配信



スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることで、ちらしの情報を音声にてお聞きいただけます